

Japan Cloud Services (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

国内市場ではクラウドは広く普及し、企業の利用／導入目的も、IT／業務の効率化から、デジタルトランスフォーメーション（DX）／データ駆動型ビジネスへと拡大しています。すでに、ほとんどのベンダーがクラウドを中核事業として、データの活用やクラウドネイティブ技術などの価値をユーザー企業に訴求しています。また、企業のDXを支援するために、自社の製品／サービスを発展させると共に、システム開発の内製化やデータ活用支援のオフラインの整備、産業分野別ソリューションの開発、エコシステムの強化などを行っています。IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Cloud Services (Japanese Version)」では、年間を通じて国内クラウド市場の調査、分析を行います。本サービスではクラウドをサービスモデルや配備モデルに区分して市場調査を実施し、クラウド市場において成功するための情報を提供いたします。2024年は、クラウドの高度活用に関わる自動化やデジタル主権などの分析を強化します。

Markets and Subjects Analyzed

- サービスモデル別市場規模および予測（アプリケーション、プラットフォーム、インフラストラクチャ）
- 配備モデル別市場規模および予測（パブリッククラウド、プライベートクラウド）
- 技術トレンドの調査
- エンドユーザー調査
- ベンダーの競合分析
- クラウドやDXがIT市場に与える影響の調査

Core Research

- 国内パブリッククラウド市場予測
- 国内プライベートクラウド市場予測
- 国内クラウド市場：用途別市場予測
- 国内クラウド市場：需要動向調査
- 国内クラウド市場：ベンダーのビジネス動向分析
- IDC FutureScape: Worldwide Cloud 2024 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。： [Japan Cloud Services \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

- クラウドベンダーにとってのビジネス機会はどこにあるのか？
- クラウド事業を成功に導く要素は何か？
- ユーザーニーズや投資動向の変化にクラウドベンダーはどのように対応すべきか？
- どのようなサービスセグメントやビジネスモデルが最も高い成長を遂げるのか？
- 技術の発展やユーザーの利活用の変化が、クラウドに与える影響は？
- リーディングベンダーはどのような戦略でビジネスの拡大を図っているのか？

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較／分析を行います（アルファベット順、50 音順）。

AWS、IBM、KDDI、NEC、NTT グループ、SAP、TIS、アクセンチュア、伊藤忠テクノソリューションズ、ヴィエムウェア、オラクル、キンドリル、グーグル、シスコシステムズ、セールスフォース、ソフトバンク、日立製作所、富士通、マイクロソフト、その他